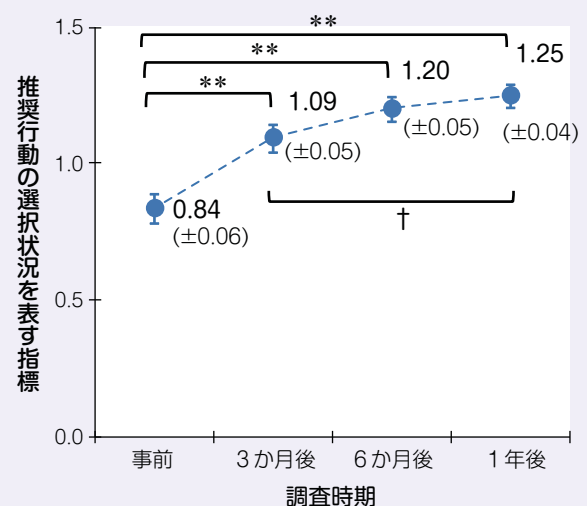


## 運転再開見込み情報の社内教育向け視聴覚教材の効果検証

山内香奈 菊地史倫 村越暁子

事故や災害などで列車が停止した際の運転再開見込み情報の早期案内を実践するために鉄道総研が開発した社員向けDVD教材について、先行研究とは異なる鉄道事業者の協力を得て、視聴から1年後までの長期的効果を検証した。教材の視聴により、推奨する行動（推奨行動）の選択状況は1年後まで維持され（図）、その効果は、年代や職種によらないことが明らかになった。概して、教材はアナウンスの改善に有効であることが示唆された一方、視聴から1年後に推奨行動を安定してとれない人が、全体の約20%を占めることもわかった。これらの社員には、自社の司令からの情報の精度を示したり、運転再開見込み情報の積極的な発信についての会社や職場の姿勢を明確に打ち出したりすることが有効であると考えられる。更に、職場でお互いの案内行動について意見交換するなどのフォロー教育を行うことも推奨行動の促進に役立つと推察される。



注1) \*\*:  $P < 0.01$ , †:  $P < 0.10$

注2) 青の実線は標準誤差を示す

注3) 推奨行動の選択指標は、値が大きいほど推奨行動をとることを示す

図 推奨行動の選択状況を表す指標